

○令和7年 2月1日(土)・3日(月)

災害時「命を守り生き抜く水」の確保に向けて

政府の地震調査委員会は、宮崎沖で頻発する地震から、南海トラフ巨大地震の30年以内の発生確率を80%程度に引き上げ、いつ起きてもおかしくない状況と発表しました。

伊勢原市ではいつ起きるかわからない災害に備え、防災訓練や非常機器・非常食の確保を進めるとともに、各地域で減災に向けた具体的な取り組みを推進するため、防災リーダー研修会を年4回実施し、受講したリーダーを中心に地域内の防災対策を進めており、当自治会からも毎年3人派遣しています。

しかし、地震発生時は「5日間」自力で生き抜くことが求められており、自助・共助の日々の備えがあつてこそ実現できます。

前高森自治会としても、発災時に地域住民の「命を守り生き抜く大切な水」の確保に向け、地域内で井戸水の供給にご協力頂ける住民(市へ登録宅)と連携し、井戸水の管理状況や停電時の対応方法を確認すると共に、市として実施していない水質検査を、自治会自主活動(今年は5カ所)として実施しています。

災害時、共助の力で仲間を守るため、
「生き抜く水」をしっかり守り
いざ!に備えてまいります。

